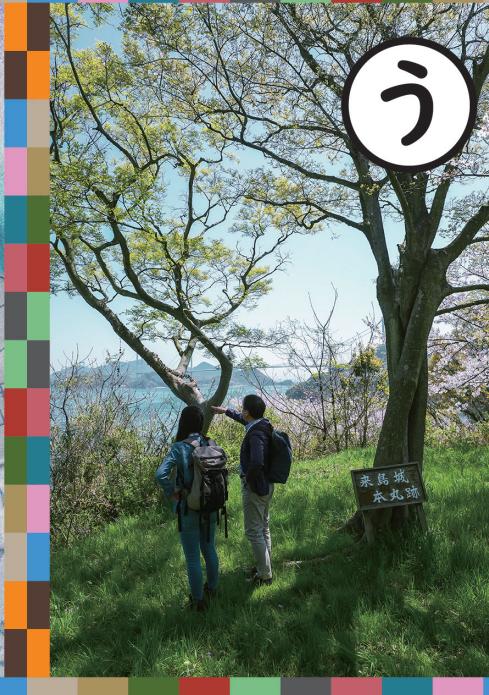


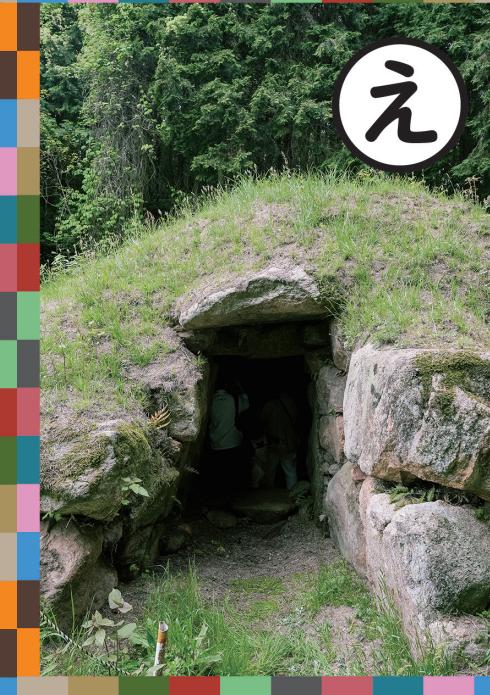
あ



い



う



え

笠松山は、朝倉地域にそびえる山で、古くから地域を見守るシンボルとして親しまれています。四季折々の自然が美しく、登山や散策を楽しむ人も多いです。山のふもとには多くの古墳が残り、歴史と文化が息づく場所となっています。

あ

今治市は、タオル生産量日本一を誇ります。優れた吸水性と柔らかな肌触りが特徴で、独自の品質基準を満たしたものが、「今治タオルブランド」として認定されます。良質な水を活かした製法で、国内外から高い評価を受ける世界に誇るブランドです。

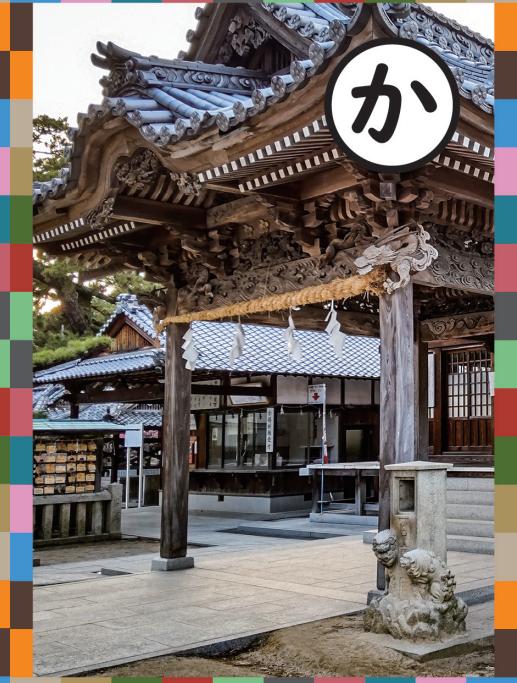
い

来島城は、「来島」にかつて存在した城で、村上海賊の拠点のひとつでした。来島全体が要塞のようになつており、激しい潮流の来島海峡を見渡せる戦略的な重要拠点でした。本丸跡からは、村上海賊が航路を支配し、船を見張っていた瀬戸内海の多島美が広がります。

う

野々瀬古墳群は、朝倉地域に位置する、5世紀から7世紀にかけて築造された古墳群です。かつては100基以上の古墳が存在していましたが、現在は約20基が現存しています。野々瀬古墳群は、愛媛県内でも最大規模の群集墳として知られ、地域の歴史を伝える貴重な遺産となっています。

え



お
波島は、大島・吉海地域に位置する小さな島です。干潮時には海面が下がり、島と陸地を結ぶ道が現れる「トンボロ現象」が見られます。この現象により、年に数日、歩いて島へ渡ることが可能となります。千潮時刻を確認して訪れることで、普段は海に囲まれた波島に歩いて渡れる特別な体験ができます。

か
綱敷天満神社は、桜井地域にある学問の神様・菅原道真公を祀る神社です。境内には、道真公ゆかりの梅の木が植えられ、春になると美しい花を咲かせます。その香りとともに、多くの参拝者が合格祈願や学業成就を願い訪れます。

き
菊間地域にある「タバタヤ菓子舗」は、昭和3年（1928年）から続く老舗の和洋菓子店です。同店の「バナナポート」は、ふわふわのスポンジ生地で生クリーミーと完熟バナナを包んだ洋菓子で、バナナボートのような形状からその名が付けられました。優しい甘さと食べ応えのあるボリューム感が、多くの人々に愛されています。

く
桜井漆器は、桜井地域で受け継がれる伝統的な漆器で、実用品から飾る物、そして高価な物から安価な物まで幅広くあるのが特徴です。何度も繰り返し塗られる桜井漆器は、素材も様々な物に漆を塗つたりするなど、日本の伝統や意味を大切に守りつつ、新たな漆の世界を追求し続けています。



け

能島は、大島・宮窪地域に位置し、かつて日本最大の海賊と称された村上海賊の本拠地として栄えた島です。周辺の海域では、最大時速18キロメートル（約10ノット）に達する激しい潮流が見られます。

こ

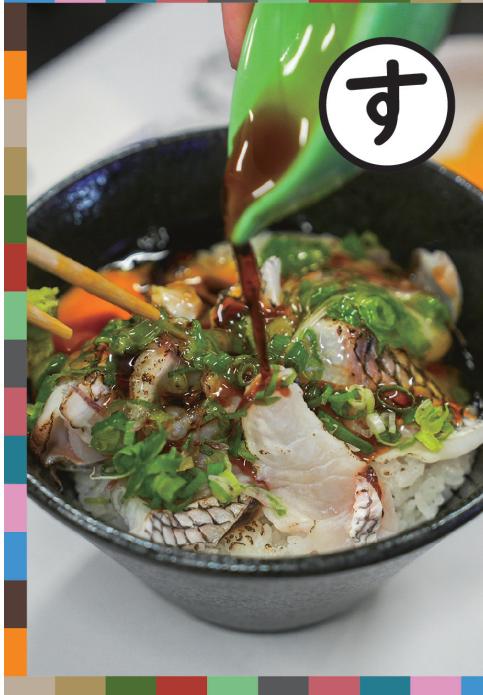
FC今治は、2024年11月にクラブ史上初のJ2昇格を達成しました。この快挙は、2014年に岡田武史会長が経営に参画以来、苦節10年の挑戦と努力の結晶です。「多くの人に夢と勇気と希望、そして感動と笑顔をもたらす」という想いとともに、FC今治はこれからもさらなる高みを目指して前進していきます。

さ

開山は、伯方島にある桜の名所として知られています。春になると、約1000本の桜が山一面に咲き誇り、瀬戸内海と桜のコントラストが美しい絶景を生み出します。山頂の展望台からは、桜越しにしまなみ海道や多島美が一望できる贅沢な景色が広がります。

し

伯方島にある『マリンオアシスはかた』では、「伯方の塩」を使用したソフトクリームとフライドポテトの組み合わせが新感覚スイーツとして注目されています。伯方の塩ソフトとフライドポテトを購入し、お好みで組み合わせて楽しむ甘じよっぱい味は、サイクリングやドライブの休憩時に立ち寄る観光客にも人気です。



今治城は、戦国時代の名将であり、築城の名手と称された藤堂高虎が築いた名城です。海水を引き入れた日本三大水城のひとつで、堅固な石垣や広大な堀が特徴です。高虎の卓越した築城技術により、防御と機能美を兼ね備えた城郭として今もその姿を誇ります。

今治市は、造船業・海運業・船用工業が集積する日本最大の海事都市として知られ、世界で活躍する船舶を生み出し続けています。国内最大級の造船関連企業が集まり、タンカー・貨物船などの大型船を建造し、国内外の物流を支える重要な産業地となっています。最先端技術と職人の技が融合する、世界から注目を浴びる海事産業のまちです。

関前の岡村島にある「島のちいさな貯金箱館」は、日本に3箇所しかない貯金箱の展示施設です。主婦の檜垣美恵穂さんが自宅を改装して展示した約2400個もの貯金箱が所狭しと並びます。動物の形をした可愛らしいものや、時代を感じさせるレトロなデザインのものなど、多彩な貯金箱が展示されており、訪れる人々は懐かしさや新たな発見に心を躍らせます。

「10ノット真鯛」は、宮窪地域の激しい潮流は最大で10ノット（約18キロメートル）に達し、この急流にもまれることで、真鯛の身は引き締まり、特有の香りと旨味が凝縮されます。2024年1月には、天然魚として唯一「愛」あるブランドに認定され、全国への販路拡大が進められています。